

円勝寺跡・成勝寺跡・岡崎遺跡 発掘調査現地説明会資料

公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

2015年1月31日

所在地：京都市左京区岡崎円勝寺町（京都市美術館敷地内）

調査期間：2014年10月14日～2015年2月28日（予定）

はじめに

この調査は、京都市美術館再整備事業に伴う第1期埋蔵文化財発掘調査で、調査区は、美術館敷地内の北西部に位置しています。調査面積は約1,330㎡です。

調査地は、平安時代後期「院政期」に造営された六勝寺（白河地域に天皇や皇族によって建立された寺名に「勝」の付いた六つの寺）の寺院である円勝寺跡（1128年・待賢門院）・成勝寺跡（1139年・崇徳天皇）の推定地です。

美術館敷地内東側では1970年に発掘調査が行われ、平安時代から鎌倉時代の礎石据付穴・掘立柱建物・築地跡・雨落溝などが発見されています。さらに、東側に位置する白河天皇によって建立された法勝寺跡では、これまでの調査によって、金堂跡や八角九重塔跡などが発見されています。また、弥生時代から古墳時代の集落跡である岡崎遺跡の範囲内でもあります。

発見した遺構と遺物

弥生時代から古墳時代：調査区の南部には、弥生時代末の北から南西方向の弧状の溝459（幅2.5m・深さ：0.6m）があります。断面は逆台形で、環濠とみられ土器が多量に投棄されていました。また、調査区の南東部には、北から南西方向に流れる自然流路460（幅15m以上・深さ1.2m）があります。上層から古墳時代の土師器・須恵器、下層から弥生土器・木製品、最下層からは縄文土器が出土しました。

平安時代後期から鎌倉時代：調査区の中央には、南北方向の溝327（幅3.6m・深さ0.8m、内幅2m）、その西側に南北方向の築地跡462・井戸4基・柱穴・土坑があります。北側に東西方向の築地跡193（掘込み地業）があります。溝SD327の東側は1段高く造成され、西端には複数の南北方向の柱穴列があります。北側に東西方向の築地跡627（掘込み地業）があります。

室町時代から江戸時代：調査区全域に東西・南北方向の耕作溝が多くあります。

江戸時代末期：東西方向の堀27（幅3m、深さ1m）・橋跡・柵・井戸・ゴミ穴などがあります。これらは加賀藩前田屋敷の遺構とみられます。

まとめ

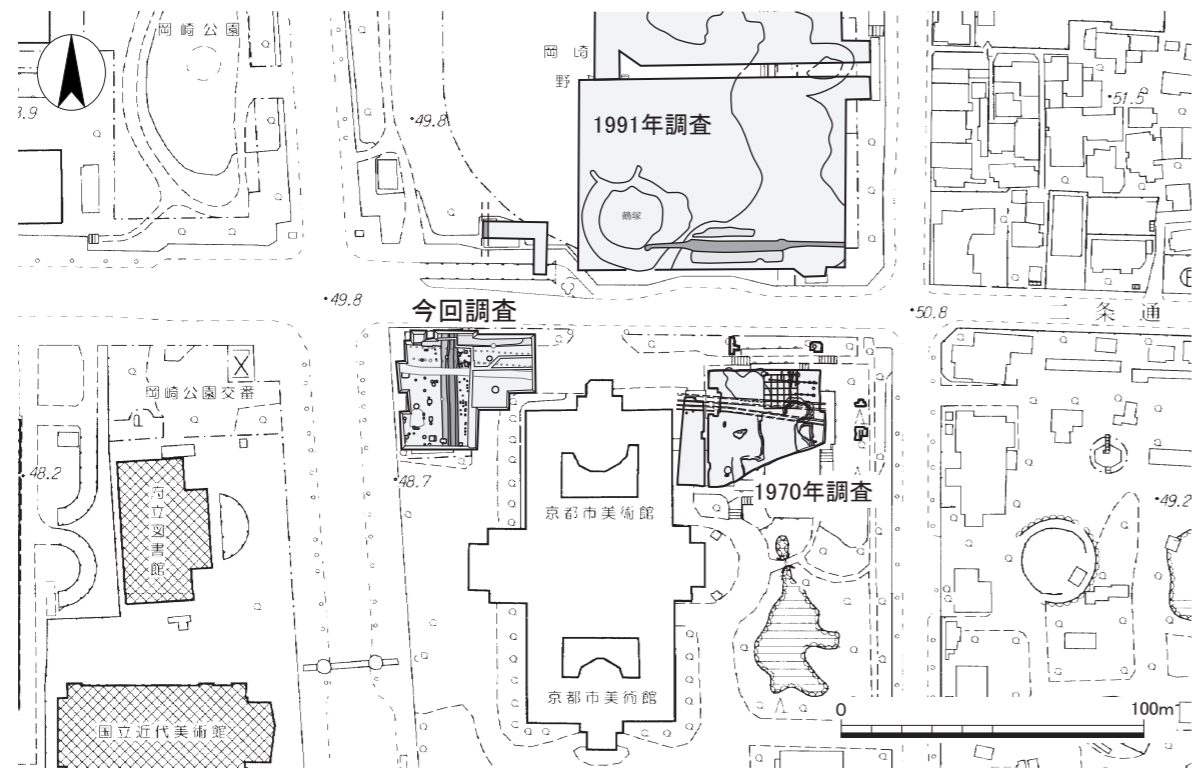
平安時代後期の円勝寺と成勝寺の遺構を発見しました。南北方向の築地跡462は、成勝寺東限とみられ、西側に展開する井戸や柱穴は成勝寺境内の遺構と考えられます。溝327の東側は1段高く雛壇状に造成されています。この雛壇の西端には、複数の南北柱穴列があることから、円勝寺西限の堀跡とみられます。これにより、円勝寺は東西1町規模であることが明らかとなりました。また、北側の東西方向の築地跡193・627は寺域北限の施設と考えられます。1991年には調査区の北方で二条大路末の北築地の痕跡を確認しており、今回の発見によって、二条大路末の道幅（築地心々距離）は約30m（10丈）となり、平安京の大路（ただし、平安京二条大路は幅17丈で約54m）規模であったことがわかりました。これらは白河街区・六勝寺の復元を考える上で大きな成果です。

また、下層では、弥生時代末の環濠や弥生時代から古墳時代の大規模な自然流路が見つかりました。

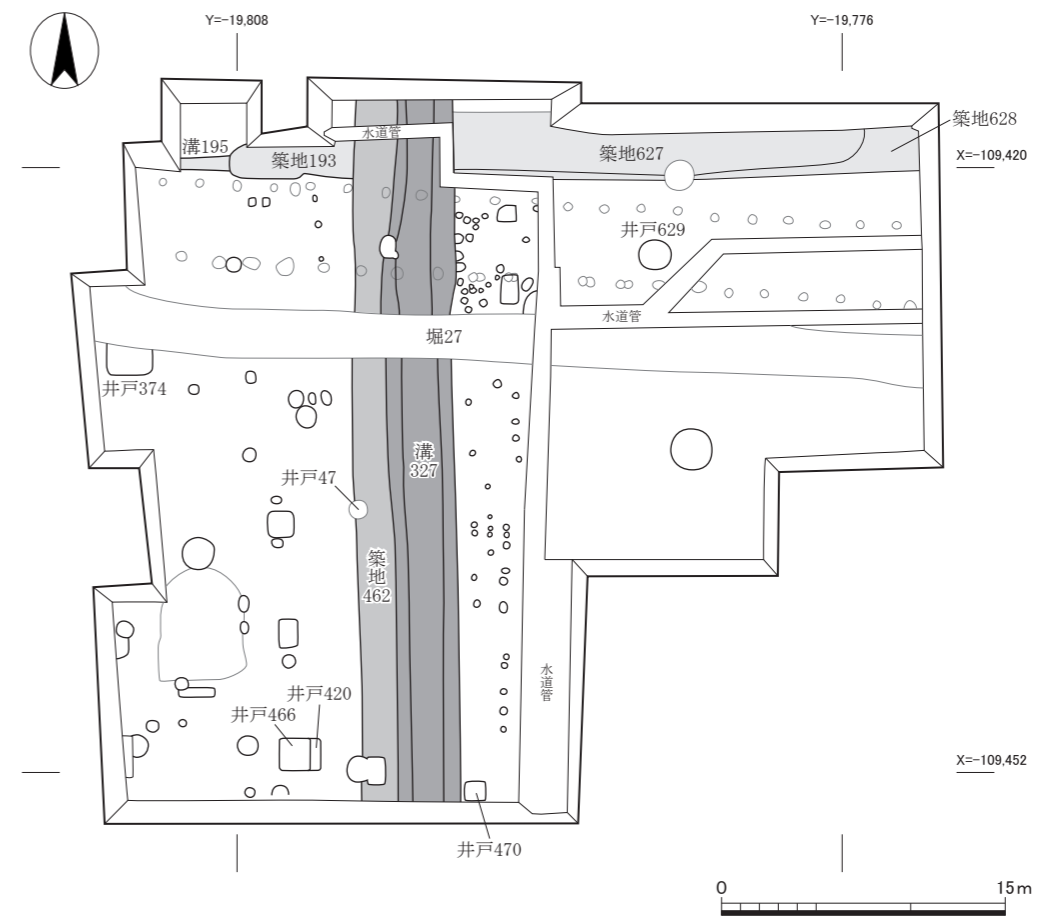
白川殿・六勝寺関連年表

上皇	年	
	1075	藤原師実が白河天皇に別業を献上、法勝寺造営開始〔法勝寺供養記〕
	1077	法勝寺金堂ほか造営〔法勝寺供養記〕
	1083	法勝寺塔ほか造営〔扶〕
白河	1095	白河上皇が御所（白河南殿）に参入〔中〕
	1102	尊勝寺造営〔中〕、この頃から白河に地割が施工される
	1114	白河南殿御堂（蓮華蔵院）建立〔中〕
	1115	白河泉殿新造〔中〕
	1118	最勝寺造営〔中〕
	1118	白河北殿新造〔中〕
	1128	円勝寺造営〔中〕
鳥羽	1132	平忠盛得長寿院を造進、宝荘厳院御堂造営〔中〕
	1139	成勝寺造営〔帝〕
	1141	歓喜光院造営〔百〕
	1143	白河押小路殿造営〔台〕
	1149	延勝寺造営〔本〕
	1156	白河北殿炎上〔兵〕
後白河	1184	白河押小路殿が鳥羽院御所から後白河法皇御所となる〔吉〕
	1185	大地震により白河地域壊滅〔玉〕
	1188	白河押小路殿が一時法皇御所となる〔山〕
後鳥羽	1208	法勝寺九重塔焼亡〔百〕
	1213	法勝寺九重塔再建〔明〕
	1221	大火により六勝寺等焼失〔百〕
	1231	尊勝寺焼亡〔明〕

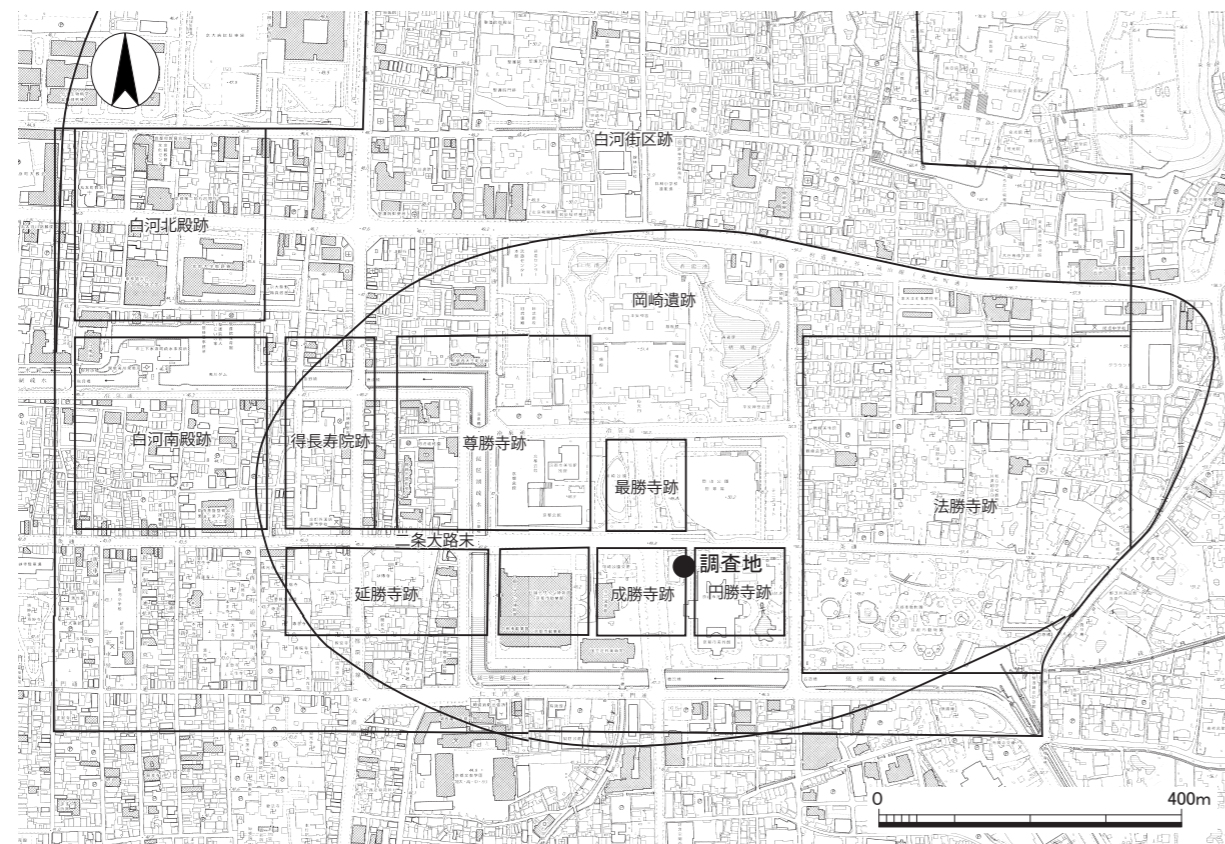
（凡例）扶：扶桑略記、中：中右記、帝：帝王編年記、百：百鍊抄、台：台記、本：本朝世紀、兵：兵範記、吉：吉記、玉：玉葉、山：山槐記、明：明月記



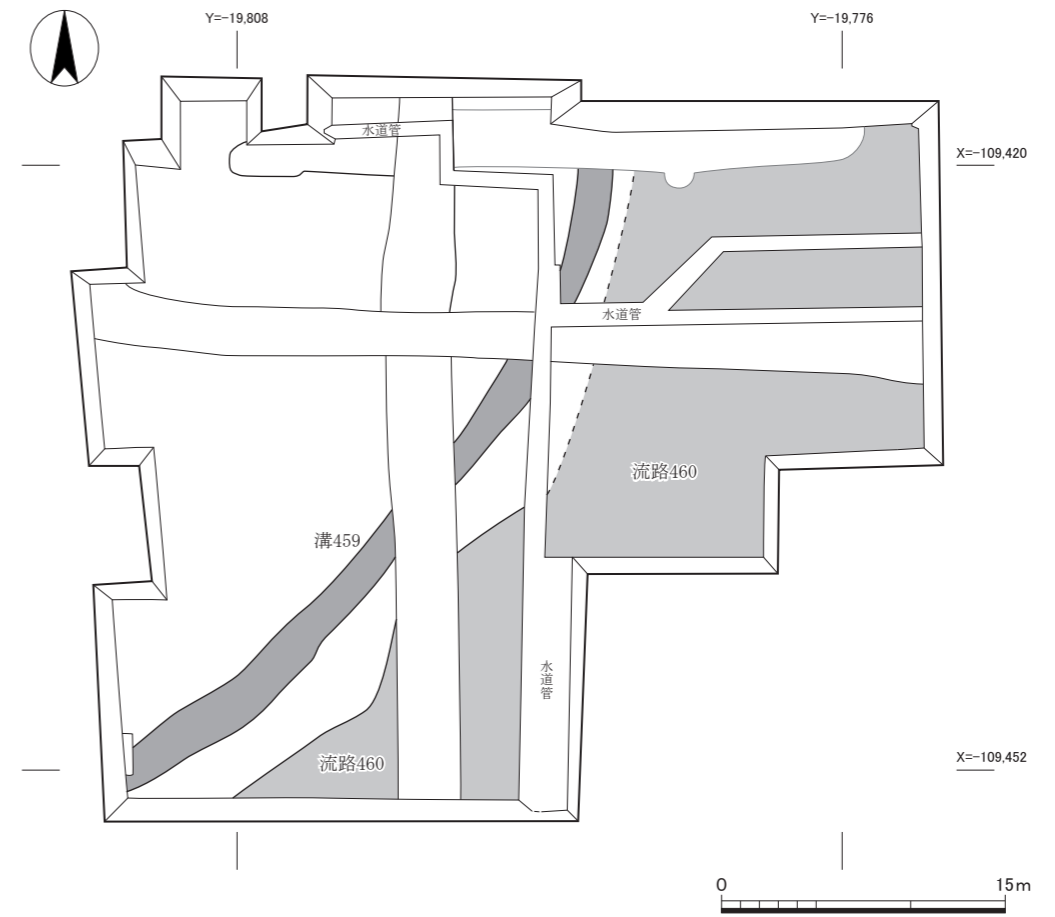
調査区位置図(1:2,500)



第2面平面図(1:400)



六勝寺跡位置図(1:10,000)



第3面平面図(1:400)